



申7号「駅体制の見直し」に関する申し入れ 団体交渉開催!②

3.土浦営業統括センター(石岡駅)のみどりの窓口営業時間変更および兼掌窓口化する目的を明らかにすること。また、箇所体制について一般の変形等1が減少する根拠を明らかにすること。

組合:石岡駅のみどりの窓口営業時間変更の根拠を示すこと。

会社:営業時間を縮小する7:00~8:00及び18:00~18:30のご利用人数は3名程度であり、どちらも指定席券売機で発売できるきつぷである。今後は指定席券売機やチケットレスサービス等を案内する。

組合:石岡駅の精算件数を示すこと。

会社:1日30件程度である。

組合:石岡駅の兼掌窓口化する根拠を示すこと。

会社:コロナ前と比べて乗降人数は8割程度回復し、収入も8割程度だが、発券枚数は5割程度である。チケットレスや指定席券売機での購入等、お客さまのご利用状況も変化した。設備としても動線が確保出来るため、兼掌窓口化する判断をした。

組合:箇所体制について、一般の変形等1が減少する根拠を示すこと。

会社:みどりの窓口営業時間変更や兼掌窓口化に伴い、一般の変形等1を解消し、副長1徹・一般2徹体制とする。

組合:兼掌窓口化に伴い、間内改良を行わない根拠を示すこと。

会社:出札窓口と改札窓口の距離は3mである。他駅でも3m離れている箇所もある。

組合:距離が離れていると認識する。レイアウト等を変更することも必要だ。

会社:レイアウトの変更やバックヤードの整備等は社員の声を踏まえて検討する。

4.水戸営業統括センター(水戸駅)のみどりの窓口営業時間変更およびサービスマネージャーの解消、輸送体制の見直しを行う目的を明らかにすること。また、箇所体制について一般の変形等2及び交代2が減少する根拠を明らかにすること。

組合:みどりの窓口の営業時間変更の根拠を示すこと。

会社:6:00~7:00の発売実績や人数は平均36枚なので10名程度である。ほとんど指定席券売機で購入出来るきつぷである。今後は指定席券売機での対応やえきねっとを推奨する考えである。

組合:サービスマネージャーを解消する根拠やこれまでの成果を示すこと。

会社:サービスマネージャーは平成13年に水戸駅に独自で配置してきた。作業ダイヤに縛られない土壌をつくり、お客さまに寄り添ったサービスを提供してきた。固定的な作業に追われない環境は、営業統括センター発足に伴い整ってきた。今後は全ての社員が担うため、サービスマネージャーを解消する。

組合:輸送体制の見直しを行う内容と今後の体制について明らかにすること。

会社:主にライフサイクル深度化を担っていた輸送案内業務A番を見直す。主に放送や特急列車や下りホームの立ち番である。今後は副長や現行の案内B番等で対応し、信号業務も含め4徹体制とする。また、西金駅の改良工事に伴い、碎石輸送の波動日勤も解消する。碎石輸送は現在トラック輸送を行っている。西金駅改良工事終了後は、新型の工事用臨時列車が導入され、入換業務等が解消する。